

# 小学校 6年

## タイムトラベル！～どんな暮らしをしていたの？～

泉佐野市立末広小学校

教科

社会

単元名

縄文のむらから古墳のくにへ

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

B-STEP 3, C-STEP 2  
F-STEP 3, G-STEP 3

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



### 単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

・大昔のくらしやむらの広がりについて、問いの解決に必要な調査を設計し、複数の資料から調べたことや考えたことをまとめることができる。

・大昔のくらしの様子について、時代の変化を捉え、時期ごとの共通点や相違点を見いだしながら、文章で記述したり、説明したりすることができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

・読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づく (F-STEP 3)

・さまざまな資料、データから読み取った複数の情報をもとに自分で考えを構築できる (G-STEP 3)

### 単元における学習の展開 (全 8 時間) (学校図書館等を活用した時間に ☆ 印)

|                 |                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 次<br>(3 時間) | <ul style="list-style-type: none"> <li>現代の生活 (衣食住) を基に過去を予想し、昔の暮らしに興味、関心を持つ。(本時)</li> <li>縄文と弥生の図書資料などから (衣食住) の共通点と相違点を見つける。</li> <li>2 つの時代の特徴をまとめ、工夫しているところや変化したこと、変化した理由などについて資料 (根拠) をもとに話し合う。(☆)</li> </ul> |
| 第 2 次<br>(3 時間) | <ul style="list-style-type: none"> <li>争いの痕跡を示す資料からなぜ争いが起きたのかを稲作の発達と結び付けて推測する。</li> <li>墓の副葬品の差から権力者や社会身分の差ができた仕組みを理解する。</li> <li>古墳について調べ、王の権力の大きさと統一されていく日本の様子を理解する。</li> </ul>                                 |
| 第 3 次<br>(2 時間) | <ul style="list-style-type: none"> <li>縄文～古墳時代への社会変化を振り返り、歴史が自分たちの生活や社会の仕組みにどう繋がっているかタイムトラベル新聞にまとめ、発信する (☆)</li> </ul>                                                                                            |

### 本時のねらい

現代の生活を【衣食住】をもとに振り返り、過去のくらしを予想し、自分たちの当たり前が通じない時代に興味関心をもつことができる。

### 本時の展開

| 学習の流れ        | 主な学習活動と内容                                                                                                                                                     | ★学校図書等の活用により期待される効果<br>(言語能力育成のためのポイント)<br>●指導上の留意点等                                                                                                    |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>(5 分)  | 1. 学習計画を考える                                                                                                                                                   | ●タイムトラベルという言葉の魅力から関心を持たせ、今後の学習の見通しを持たせる。                                                                                                                |
| 展開<br>(35 分) | 2. 現代の生活について話し合う (グループでの対話活動)<br>現代の「当たり前」をヒントに大昔の生活を予想しよう<br>3. 昔の人たちの生活を予想する (グループでの対話活動)<br>視点: 現代のものは昔からあるのだろうか<br>視点: 現代の物がほとんどなかった時代、どのような生活を送っていたのだろうか | ●【衣食住】の観点で現代の暮らしにあるものを上げていくよう促す。<br>●教科書を開かずに、現代のくらしにあるものから昔のくらしでは存在しないであろうものに線を引いて消すように促す。                                                             |
| まとめ<br>(5 分) | 4. ふりかえり (個人)<br>・単元マップを確認する。<br>・歴史的事象から自分の考えをまとめる際には信憑性のある資料 (図書資料や教科書、資料集など) が大切であることを確認する。<br>・学級文庫や学年のブックコーナーにも、縄文時代～古墳時代にまつわる図書資料を設置していることを確認する。        | ●時代が変わるにつれて暮らしがどう変化しているのかを【衣食住】の観点をもとに学習すること伝える。<br>●まとめや自分の考えを説明する根となる資料についてはインターネットだけでなく図書資料や教科書も活用するように促す。<br>★信憑性の高い図書資料を読み取ることで説得力のある発表に生かすことができる。 |

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・はじめての歴史の学習になるので、いかに興味がわき、主体的な学びにつながるのかを考え、発問や課題提示の仕方を工夫した。現代の自分たちとの比較から入ったことで、現代とのつながりが意識でき、興味関心をもつことができた。

・4 月から交流する場をたくさん設けてきた。

この単元では特に、観点や資料に基づいて話すことや、ペア・グループでの交流を繰り返し、考えを広げていくことに重きを置いて取り組んだ。

その結果、交流することの楽しさ、考えが広がることのよさを実感することに繋がった。



新聞を仕上げるために図書室で本やクロームブック、教科書から情報を集めています。